

ようこそ

第 44 号

浄土真宗本願寺派

円光寺

〒870-0108

大分市三佐3-15-18

TEL 097-527-6916

FAX 097-527-6949



(上) ご門主さま御一行を
お迎えして記念撮影
(1989年6月8日)



(左) 円光寺本堂で御巡教の
ようす (同日)

平成元年円光寺 アーカイブス

即如ご門主さま御巡教

平成元年六月八日(木)に即如ご門主(当時)が大
海組を御巡教され円光寺にお立ち寄りになりました。
僅かな時間のご縁でしたが、ご門主さまから
お言葉をいただき、昭然住職(当時)が御礼とこれ
からのご法義相続の篤い念いを申し上げました。

ご門主さま御一行は前々日より大分教区内の速
見組由布院組をまわられ当日は挾間町光林寺様を
巡回し円光寺に入られました。午後には大在長光
寺様で組内全寺院の寺族門信徒と話し合い法座を
もたれ婦敬式のご縁もいただきました。

巡回寺院に決まり本堂境内の整備お内陣のお荘
厳など昭然住職の陣頭指揮のもと準備を重ねご門
主さまをお迎えすることができました。

大人数による写真撮影は失礼がないように何度
も打ち合わせをし予行演習をして短時間で見事に
できたことが今でも記憶に残っています。

当時の円光寺を支えてくださった総代世話
人仏壮仏婦のご門徒衆の懐かしいお姿です。

平成の時代の始まりでした。平成の幕が下りよ
うとする今、円光寺の平成三十年間の歩みを一人
ひとりの顔を拝見しながら思い出します。

昭然住職63歳で仏教壮年会の五十年代六十代のメ
ンバーがお寺の活動の中心にあつて円光寺の生き
生きしたお寺づくりが始まろうとしていました。
教恵若坊守を迎えて三十代の若婦人すみれの会の
メンバーが花を添えています。

あれから三十年、ご門徒衆の顔ぶれは大きく変
わりましたが、先人のお念仏のバトンをしっかり
受け継いで浄土真宗門徒の心意気愈々盛んにして
円光寺は益々私たち門徒みんなのお寺として活発
にお念仏相続の歩みを続けてまいります。

仏さまのご縁つながりを 大切にいただきましょう

お仏壇のお守り役

昨年一年で三軒ほどお家のお仏壇を守ってきた一人暮らしのおばあちゃんや体が調子を悪くされ子どもさんの所に転居したり病院や施設に入ったということが続きました。お仏壇のお守り役がいなくなるといふことです。お家のお仏壇はそこに住まいすお家の方が日々のお給仕といつてお仏飯をあげたりお花をかえたりお灯明や線香をお供えしたりしていると思います。そのまま放つておいたらホコリをかぶつてしまいます。仏さまに申し訳ない、これほどもつたいないことはありません。

お仏壇の行方

またこの十年内で古いお家からマンションなどの新しいお家に引っ越される方が多くなりました。これからも増えてきます。お仏壇も引っ越されるわけですが、大きなお仏壇の収納スペースがなくコンパクトなお仏壇に替えられることとなります。核家族が進み、親の家の子の家孫の家とそれぞれの世代の家族が別々に住み先祖伝来のお家を継いでいく生活様式がなくな

るなかで、お仏壇です。誰がどういうかたちで守つていくのか。他人事ではない私たちの大事な問題になってきています。

私たちのシュウカツ

超高齢社会にあつて終活の話題がいつぱいです。この命終えるにあつて様々な課題がありますが、お仏壇やお墓のあり方も大きなテーマになってきます。これを宗活、宗教活動ととらえて仏さまのご縁をいただいてほしいと思います。

お仏壇をお家の中心にご安置することの意味をたずねて仏さまのみ教えに聞いてみませんか。歳を重ねて親を亡くし友人や大切な方とお別れする悲しみの

教恵坊守さん還暦おめでと〜いいます

教恵坊守さんが今年満六十歳の還暦を迎え十一月十八日(日)の誕生日にご本山にお参りして帰敬式を受け法名「釋教慧」を拝受しました。

円光寺に結婚入寺して35年晃照住職継職に伴い坊守就任17年よく住職をたすけ共々に寺門の興隆とお念仏のご法義繁盛に尽くしていただいています。日頃からの感謝をこめて心からありがとうございます。



還暦を祝う会
毎年全戦没者追悼法要と併催しています (8月15日)

ご縁が増えてきます。先に逝かれた方に手を合わせお仏壇やお墓にお参りすることが多くなりません。仏さまのご縁です。仏法を聞いてくれよと仏さまのご催促おはたらきです。自分中心のものの方で死んだら終いと思ひ込み仏法に背を向けてきた私を目当てにこれまででもこれからはとおはたらきです。

お仏壇は教えそのもの

浄土真宗のお仏壇は御本尊の阿弥陀如来さまが私たちを誰一人見捨てず必ず救うと建立された南無阿弥陀仏のおさとの世お莊嚴された仏具やお飾りの一つ一つが阿弥陀さまの救いの法を教えてくださっています。家は変わり人は変わつてもお仏壇を大切に次の世代に伝えていきましよう。

世々生々

今貧困問題が極めて深刻だといわれる。世界の経済大国・先進国といわれる私たちの国日本のことだ。◆経済格差が広がる一方で貧困の実態が蔓延化しているという。私たちのすぐそばで貧困に喘ぎ苦しむ、その日の生活に困り果て自暴自棄になる人がいることを思う◆健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を保障すると憲法にうたい福祉の充実がはかられ社会保障や生活保護の制度はあつてもある◆人と人とが織りなす社会に生きる私たちが。自分一人では生きられないと知つていて、頑なに自分の矜持にこだわりの社会に頼らず生きる人、社会に甘え責任を押し付けるように生きる人、その生きざまは様々だ◆自分中心の生活を享受するなかで貧困の実態を見ようとならない私たちのあり方がまた問われる◆同じ時代同じ社会に共に生きる私たちが。他人事と無関心を決め込むのではなく、少しでも思いを寄せて私にできることをさせていだこう◆縁があればこの私が当事者になると仏さまは教え、すべてのものを分け隔てなくそのまま救う決して一人も見捨てないとおはたらきだ。そこに私たちの救いがある。

お朝事『法話』より

今さつそくのお救い

台風24号がやってくるということ、大分市ももうすぐ暴風雨圏内に入ってこれから風雨が強くなるということです。

ちょうどこの時間は雨は降ってはいませんが、それほど風もななくいつものようにお朝事のお勤めをさせていただきました。

昨日からずっと台風情報を聞いていますが「不要不急の外出はしないようにしましょう」と何度も言われていました。

不要とは必要な用事が無いということと不急とは急がなくてもよいということです。

こうした風雨が強い日は外出しない家で過ごしましょうとの呼びかけです。

台風の中に外出したばかりに風物が飛んできて怪我をしたということもよく聞きます。

不要不急ということ阿弥陀さまのお救いを味わいます。

阿弥陀さまのお救いは不要ではありません。迷いのなかに苦悩する私たちを見て取って必ず救うとご本願を建てられました。

不急でもありません。今すぐ救うと立ち上がり私たちのとこ



〈健康教室〉お食事会のようす
毎月2回開いています。遊びに来てネ!!
(12月12日、あんのん館)

ろに来てくださり南無阿弥陀仏とおはたらきます。

今さつそくのお救いです。この私を目当てに必ず救うと用事があるから今南無阿弥陀仏となつて私のところに来てくださつてあるお救いなのです。

そのこと一つ聞いてくれよと私たちにお聴聞をお勧めです。

今日皆さんが座っているその席です。私のために今この席を阿弥陀さまがご用意してくださっているのです。その席に座れとご催促です。その場に身を置いて

円光寺ホームページで

へお念仏申す生活法話V

お朝事『法話』を

日々更新しています

ご案内

- ◆初法座
1月 2日(水) 10:00~11:00
- ◆常例法座(親鸞聖人祥月御命日)
1月16日(水) 10:00~11:30
- ◆常例法座
2月18日(月) 10:00~11:30
- ◆春季彼岸会
3月20日(水) 11:00~15:00
同 19:30~21:00
3月21日(木) 13:30~15:00
- ◆花まつりの会
4月 7日(日) 9:30~11:30
(白象パレード、新1年生を祝う会)
- ◆宗祖降誕会
5月19日(日) 10:00~15:00
(初参式、バザー、もちまき)
- ◆常例法座
6月17日(月) 10:00~11:30

“月に一度は
お寺参りしましょう”

※詳しくは『寺通信』でご確認ください。

ていくのだよと仰せです。今日もこうしてお勤めができました。仏さまに手が合わさつてナンマンダブツとお念仏申してお礼ができたということです。私がどうこうではありません。私がどうこうではありません。私がどうこうではありません。私が入るとそれこそここに座つていながらもどこかここに心が動き迷ってしまうということではないでしょうか。

(9月30日)

お朝事にお参りしましょう
へ 毎朝6時30分〜7時V

「寒いね」とあなたの声が
あたたかい」

(町角伝道掲示板 12月のことば)

寒いなかに寒いと言って言われて何であたたかいのかということですが、そこにあなたがいるということなのです。

「寒いね」と言ってくれるあなた、「そだねー」と共感してくれるあなたです。

一人じゃないということなのです。いつもあなたが傍にいて、あなたのあたたかさです。

南無阿弥陀仏のご法義おはたらきます。いつでもどこでも阿弥陀さまが親鸞さまが先祖有縁の仏さまと一緒に南無阿弥陀仏と私のところに来てくださり私の口からナンマンダブツとお念仏が出てくださいます。お念仏の声があたたかいです。



ほれぼれとお聴聞
柘智海御講師(佐賀県円満寺様)
(9月22日)

秋
季
彼
岸
会
法
要



小学生46名と中高生6名が参加しました
子どもたちの元気いっぱいのお念仏の音が
力強く有難かったです (7月31日~8月1日)

第38回サマースクールを開きました



お寺の阿弥陀さまの尊前で一緒に
お念仏申して長寿をお祝いました
(9月27日)

敬
老
会



楽しかった思い出を
感想文に書きました
(8月1日)



そうめん流しは毎回
子どもたちに大人気です
(8月1日)

こども報恩講



大人も子どもも皆ほとけの子
と一緒に合掌、お念仏申します
(11月26日)



お講当番さん手作りの
お齋をおいしくいただきました
(11月27日)



吉村順正師(高千穂町正念寺様)に
布教お取り次ぎいただきました
(11月27日、28日)

親鸞聖人御正忌報恩講

昨年一年の行事には「平成最後の」という修飾詞の表記が目立った。平成最後の「ようこそ」の発行です。住職継職法要直前の平成14年三月一日付創刊で17年間で44回の発行となる。とにかく定期的に発信し続けることを心がけてやってきた。
次号は今年七月の発行予定で新元号での初めての「ようこそ」となる。時代の節目のアクセントをいただきマンネリにならないように新しい話題を取り上げ皆さんと共に作り上げていきたい。どうぞご意見ご感想等お寄せください。励みになります。

あ
と
が
き



毎年8月に4回目の開催です
藤井邦麿御講師(日出町正善寺様)
(8月25日)

ようこそ大分まちなか法話会